

オンライン図書館公開講座2024「戦争と平和について考える」
課題図書のご購読にあたっての各先生からのアドバイス

※本校生は予めご講演者にご指定いただいた課題図書を読み、事前学習会を開いてから本講座に臨んでいますが、本校生にとって課題図書を丸ごと一冊読破するのはハードルが高いため、ご講演者の先生方には、ご講演内容に特に関係の深い章をご指定いただき、購読のご助言をいただいております。ご視聴者の皆様も必要に応じてご参考ください。

- 第1回 「『大東亜共栄圏』とは何だったのか？」
日時 8月23日(金)15:20~17:40
課題図書 安達宏昭著『大東亜共栄圏』(中公新書、2022年)

☞安達宏昭先生より「序章はぜひ読んでおいていただきたいと思います。その後、今回の講演と直接関係のある2章・5章を重点的に読んでいただければと思います。」



- 第2回 「『避けられた戦争』—1920年代日本で捨てられた選択肢を発掘する—」
日時 9月20日(金)15:20~17:40
課題図書 油井大三郎著『避けられた戦争』(ちくま新書、2020年)

☞油井大三郎先生より「私の報告では、ヴェルサイユ条約における民族自決権尊重(第1章1・2節)、ワシントン条約における中国の主権尊重と門戸開放(第2章2・3・4節)、中国の国権回復運動(第4章全体)に重点を置いてお話しする予定ですので、これらの箇所を中心に読んでいただければ幸いです。」



- 第3回 「国際関係論から戦争と平和について考える」
日時 10月25日(金)15:20~17:40
課題図書 大芝亮著『国際政治理論』(ミネルヴァ書房、2016年)

☞大芝亮先生より「1章・7章・10章を重点的に読んでください。それでも長い場合は、第1章は「国際システム・レベルでの勢力均衡論」12頁と「平和戦略としての勢力均衡論?」13-14頁を読んでください(Column「明治日本の富国強兵・殖産興業政策」は不要)。第7章は「3 平和戦略としての国際的相互依存論」115-116頁とColumn「カフェ談義 北朝鮮とどうつきあうか」116頁と表7-3(115頁)を読んでください(Column「敏感性・脆弱性と複合的相互依存」116頁は不要)。第10章は「理論の内容」(「事実関係の発見」(157-160頁)を読んでください(Column「国際政治学における計量分析とデータベース」160頁は不要)。



- 第4回 「20世紀における国際体制の変容と平和の追求—国際連盟から国際連合へ—」
日時 11月8日(金)15:20~17:40
課題図書 後藤春美著「世界大戦による国際秩序の変容と残存する帝国支配」(『世界歴史20』岩波書店、2022年収録)、同著「二十世紀における国際体制の展開と平和」、「国際平和を歴史的に考える 座談会」(『国際平和を歴史的に考える』山川出版社、2022年収録)

☞後藤春美先生より「世界史探究・歴史総合履修者の皆さんを思い浮かべて、まとめのような内容をお話できれば良いのかなと思います。『岩波講座世界歴史20』の方は、全部ではなく、14頁の最後の行~47頁の第四節の終わりまで目を通していただければ『国際平和を歴史的に考える』(第3章「二十世紀における国際体制の展開と平和」との接合が良いかなと思います。」



